

令和2年度下半期下水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、3,672,596,924円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに8,940.24m布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を9箇所実施しました。さらに、令和元年度から令和3年度の3カ年継続事業である東川口駅周辺浸水対策事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、617,228,184円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管1,453.17mを布設しました。また、更生工事により下水道管859.72mの延命措置を講じました。

ポンプ場建設改良事業では、566,162,894円を投じ、令和元年東日本台風で被災した領家第八公園ポンプ場の本復旧工事のほか、元郷排水ポンプ場監視装置更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は6,526,960,629円で、予算現額6,465,164,000円に対し執行率101.0%、他会計負担金は1,624,165,405円で、予算現額1,794,749,000円に対し執行率90.5%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は11,253,231,255円で、予算現額11,361,588,000円に対し執行率99.0%となりました。

一方、収益的支出の決算額は9,862,729,495円で、予算現額10,430,523,000円に対し94.6%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用9,064,566,842円、企業債の支払利息795,346,798円、特別損失2,567,868円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,390,501,760円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債3,523,800,000円、他会計出資金490,500,022円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は5,369,352,201円となり、予算現額7,843,417,000円に対し68.5%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は8,924,695,903円で、予算現額10,939,280,000円に対し81.6%の執行率となりました。内訳は、建設改良費5,330,497,792円、企業債償還金3,594,198,111円となっています。

3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は503,874人で、前年度に比べ736人(0.1%)減、水洗化世帯数は248,910世帯で、前年度に比べ3,854世帯(1.6%)の増となっています。

年間総排水量は62,003,612^m³で、前年度に比べて5,835,930^m³(10.4%)の増となり、有収水量は53,183,322^m³、有収率は85.77%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,465,164,000	6,526,960,629	61,796,629	101.0
他会計負担金	1,794,749,000	1,624,165,405	△ 170,583,595	90.5
その他営業収益	2,841,000	2,924,850	83,850	103.0
他会計補助金	154,133,000	115,377,916	△ 38,755,084	74.9
国庫補助金	67,624,000	67,624,000	0	100.0
長期前受金戻入	2,875,801,000	2,871,092,165	△ 4,708,835	99.8
消費税及び地方消費税還付金	0	42,960,773	42,960,773	—
雑収益	1,275,000	2,033,745	758,745	159.5
過年度損益修正益	1,000	91,772	90,772	9177.2
計	11,361,588,000	11,253,231,255	△ 108,356,745	99.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
管渠費	655,433,000	598,134,673	57,298,327	91.3
ポンプ場費	791,271,000	728,384,982	62,886,018	92.1
普及促進費	153,589,000	82,802,982	70,786,018	53.9
業務費	340,468,000	335,202,983	5,265,017	98.5
総係費	286,304,000	210,011,333	76,292,667	73.4
流域下水道維持管理費負担金	2,456,898,000	2,276,106,502	180,791,498	92.6
減価償却費	4,834,245,000	4,827,807,076	6,437,924	99.9
資産減耗費	7,210,000	6,116,311	1,093,689	84.8
支払利息	829,700,000	795,346,798	34,353,202	95.9
消費税及び地方消費税	35,821,000	0	35,821,000	0.0
雑支出	170,000	247,987	△ 77,987	145.9
固定資産売却損	37,000	2,313	34,687	6.3
過年度損益修正損	9,377,000	2,565,555	6,811,445	27.4
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	10,430,523,000	9,862,729,495	567,793,505	94.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
企業債	4,874,700,000	3,523,800,000	△ 1,350,900,000	72.3
他会計出資金	1,077,696,000	490,500,022	△ 587,195,978	45.5
他会計補助金	127,528,000	123,561,049	△ 3,966,951	96.9
国庫補助金	1,763,467,000	1,231,426,000	△ 532,041,000	69.8
負担金	17,000	17,700	700	104.1
固定資産売却代金	9,000	47,430	38,430	527.0
計	7,843,417,000	5,369,352,201	△ 2,474,064,799	68.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	予算残額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
建設改良費	7,345,081,000	5,330,497,792	2,014,583,208	72.6
企業債償還金	3,594,199,000	3,594,198,111	889	100.0
計	10,939,280,000	8,924,695,903	2,014,584,097	81.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

排水の状況

区分	A 令和2年度	B 令和元年度	C 差引 (A - B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	503,874	504,610	△ 736	△ 0.1
水洗化世帯数 (世帯)	248,910	245,056	3,854	1.6
総排水量 (m ³)	62,003,612	56,167,682	5,835,930	10.4
1日平均排水量 (m ³)	169,873	153,463	16,410	10.7

地方債現在高

令和3年3月31日現在

1 地方債

借入先	下水道会計
財政融資資金	千円 37,720,298
簡易生命保険資金	2,390,149
地方公共団体金融機構	12,983,216
市中銀行	922,194
合計	54,015,857

※市中銀行…埼玉りそな銀行、きらぼし銀行、川口信用金庫、青木信用金庫、瀧野川信用金庫

令和3年度下水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適な暮らしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和3年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管渠等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は11,575,393千円で、前年度に比べ213,805千円（1.9%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、他会計負担金の対象経費が増加したことによるものです。

収益的支出の合計額は10,335,902千円で、前年度に比べ21,093千円（0.2%）の減となっています。減額の主な理由は、委託料が減少したことによるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は5,004,572千円で、内訳は、企業債3,377,200千円、他会計出資金865,295千円、他会計補助金135,822千円、国庫補助金626,255千円となっています。

資本的支出の合計額は8,278,098千円で、内訳は、建設改良費4,628,697千円、企業債償還金3,649,401千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,273,526千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額387,986千円、減債積立金740,000千円、過年度分損益勘定留保資金614,166千円、当年度分損益勘定留保資金1,531,374千円で補てんします。

3 汚水処理状況

令和3年度の総排水量は68,654,000 m³、有収水量は51,657,000 m³、予定有収率は75.24%を見込んでいます。